

環境だより



環境課 ☎66・1121

市民の声

Aさん

「この間、道路を歩いているとき、犬のフンを踏んでしまい、一日中、不愉快な気分だった。飼い主には、責任を持って、フンの後始末を行ってもらいたい。」

Bさん

「公園の砂場や芝生に犬のフンがあつて、子どもを安心させて遊ぶことが出来ない。」

Cさん

「家の前が犬の散歩コースになっており、門の前でしょっちゅうフンをされるので、いつも片づけている。」

犬のフンは必ず持ちかえって

このように、犬のフンについての苦情が市に多く寄せられています。

あなたは、犬を散歩させるとき、フンの後始末をするためにビニール袋を持っているのに、ついつい拾わないでその場を立ち去ってしまうようなことはありませんか。

道路上や公園、空き地などに置き去りにされたフンに困っている人が大勢います。

犬のフンを持ち帰り、処分するということは、みんなが気持ちよく日常生活を送るための大切なマナーです。

飼い主のみなさん、散歩のときは、必ず袋とスコップとそしてあなたのモラルの3つを持って出掛けましょう。

犬を散歩させるときは、トイレは家で済ませてから出かけることが原則ですが、そうでない場合は、飼い主が必ずフンを自宅に持ち帰って、自分の畑や庭に埋めてください。自分の家で処理の出来ない方は、乾燥させて燃えるゴミとして地区のステーションに出してください。

犬のフンの後始末は、飼い主の責任です。

消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

「左！左！左右、ソーレ。」
今日も、消防学校で聞こえるエールの声。

消防士は、配属1年目で愛知県消防学校に入学します。学校の場所は尾張旭市、期間は約半年。今回は、消防学校での生活を紹介します。

午前6時30分。
学校歌で目を覚まします。布団をたたみ、グラウンドに集合。そしてエールをかけながらグラウンドを走り、体操をします。

その後、朝の掃除をし、朝食を取ってから授業を受けます。

授業の内容は、火災防御、安全管理、危険物などの座学

消防学校

（教室で行う授業）やポンプ操法、体力錬成訓練などの実科（屋外で行う授業）があります。

他には、一日中、無言で歩く強歩訓練、精神を鍛えるための座禅などの変った訓練もあります。在学中は、とても厳しく、つらい毎日です。

しかも寮生活をしているので、外出ができるのも休日と水曜日の限られた時間だけです。

寮生活では、6人部屋の仲間がひとつの班になります。さまざまな都市から集まった部屋の仲間たちと、いろいろな話をしたり、時には愚痴をこぼしたりしながら、半年間のつらい消防学校生活を終えると、消防士1年生となるのです。

午後10時50分。
「非常呼集！非常呼集！作業服に小綱を携行、グラウンドに集合。」

たまにあるんですよ。こういうのが……